

「KOBEMAG」使用の鋼管

# 東成鋼管が取り扱い開始

## 土木・建築向けで拡販

各種鋼管の在庫販売  
および加工・超精密金  
属管製造を手掛ける東  
成鋼管（本社・東京都  
中央区、社長・岡部耕  
喜氏）は、母材に神戸  
製鋼所の高耐食めっき  
鋼板「KOBEMAG」  
を使用した一般構造用  
鋼管（STK400）

と中径角形鋼管（ST  
KR400）の取り扱  
いを開始した。高い耐  
食性が求められる土木  
・建築分野での拡販を  
図る。

「KOBEMAG」  
は昨年2月に国土交通  
省の大臣認定を取得。  
建築部材をはじめさま

ざまな用途に適用でき



KOBEMAG使用の中径角形鋼管

るようになり、スペツ  
クインされた建築物  
も出てきている。近年、  
土木・建築分野では防  
護柵の支柱や物流関連  
施設向けなどでより耐  
食性ニーズが増えてき  
たことから、主要品種  
・サイズの品ぞろえで

需要を捕捉していく。  
中径角形鋼管は2・  
3<sup>ミ</sup>×100角、3・  
2<sup>ミ</sup>×100角の2サ  
イズ、一般構造用鋼管  
は外径101・6<sup>ミ</sup>×  
肉厚3・2<sup>ミ</sup>、114  
・3<sup>ミ</sup>×3・5<sup>ミ</sup>の2  
サイズを取り扱う。

今回、同社の古河事  
業所（茨城県古河市）  
と浦安事業所（千葉県  
浦安市）の2拠点で取  
り扱いを開始。今後は  
需要動向に合わせて商  
品のサイズ、数量など  
を調整していく方針  
だ。

